

51 うだ・アニマルパーク —動物と遊べる楽しい公園です—

あけましておめでとうございます。

とってもかわいいウサギさんの絵の年賀状をありがとう。冬休みのあいだお家であずかっていた学校のウサギなのですね。亜矢ちゃんに大事にしてもらったウサギさんは「ずーっと亜矢ちゃんの家になりたいよ」って言いませんでしたか。

ウサギさんについてのおたずねも受け取りました。そこで、おじさんは、ウサギのことを勉強しようとして「うだ・アニマルパーク」に行ってきました。とても良い天気の日で、噴水の向こうに広がる芝生の丘には、たくさんの動物が遊んでいました。ここには、ウシやヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウサギなどがいます。そして、動物たちにえさをあげたり、ウシの乳をしぼったりできます。



では、亜矢ちゃんへのお答えです。

1 お兄ちゃんは「学校のウサギは白色だけど、白くないウサギもいるよ」って言うんだけどほんとうですか。

お兄ちゃんのいうとおりです。日本で飼われているのは白いウサギが多いのですが、灰色や黒色、茶色、オレンジ色がかったものなどいろいろです。また、2つの色で模様になっているものもあります。眼の色もいろいろですよ。白いウサギの眼は赤い色をしているのが多いのですが、茶色っぽいものや灰色、青みがかった眼のものもあります。次の写真は

ロップイヤーという種類のウサギで名前はシロップ、後ろの黒いのはチロです。大きいウサギですが、とてもおとなしいそうです。

2 先生から「ウサギも水を飲むよ」とききましたが、おばあちゃんは、「ウサギに水を飲ませると死んでしまうよ」と言います。どっちがほんとうですか。



そんなことはありません。動物ですから生きていくためには水も大切です。昔は、草や野菜などを食べさせていましたからあまり水がいらなかったのですが、今はウサギさん用のえさを買ってきてあげることが多いので、水も飲めるようにしておいてください。特に、赤ちゃんを産んだときはたくさんの水がいるということでしたよ。

アニマルパークには「動物学習館」があって、動物についてのいろいろな勉強ができます。おじさんが行った日も、大勢のお友だちが来ていました。一度行ってみてください。

まだ習っていない漢字も使いました。難しいのがあったらお姉ちゃんに読んでもらってね。

(平成 23 年 1 月・小学校 1 年生の垂矢さん宛て)

スポットの案内

うだ・アニマルパークは、宇陀市大宇陀区下竹 103 にあって、休場日は月曜日（祝祭日のときは翌日）と年末年始、見学できるのは 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）、入場は無料です。バター作り体験や牛の乳しぼり体験、ポニー乗馬などは申込みが必要、電話 0745-87-2520 で事前予約ができます。近鉄・榛原駅（南出口）から奈良交通バスで

「五十軒（ごじっけん）」下車，徒歩5分です。

理科のワンポイント「ウサギの耳」

子どもたちの好きな絵にウサギの絵があります。特徴があって描きやすいのでしょう。右のように大きな耳を描いて赤く塗ります。この大きなウサギの耳には2つのはたらきがあります。



1つは、遠くの音，かすかな音を聞きとることです。私たちが聞き取りにくいときには手を耳の所に寄せてかすかな音を聞きとろうとします。手のひらで音を集めるのです。ウサギはこのような大きな耳(耳介といいます)を持っていて，この向きを変えることによって遠くの音を聞き取ろうとするのです。そう強い動物ではないウサギにとってこのことはとても大事なことなのです。そして，自分を襲うかもしれない動物を早く見つけて逃れるのです。

遠くの音を録音するための集音マイクや放送衛星から届くかすかな電波を集めるパラボラアンテナはウサギさんの智慧をまねたものなのです。

2つ目は，体温を下げることです。私たちは汗をかくことによって体温を下げます。体に汗腺という汗を出す器官があるのです。イヌには汗腺がありません。だから，舌を出して「ハアハア」と息をして水分を蒸発させ体温を下げます。ウサギの耳には皮膚のすぐ下に毛管(細い血管)が通っています。これに風を当てて体温を下げるのです。そのために血管が体の表面近くにあるから，ウサギの耳は赤く見えるのです。